

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【公表番号】特表2009-517403(P2009-517403A)

【公表日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2009-017

【出願番号】特願2008-542534(P2008-542534)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/4995	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/455	(2006.01)
A 6 1 K	31/517	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/4995	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/455	
A 6 1 K	31/517	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 P	43/00	1 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月17日(2009.11.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

腫瘍細胞集団に対するエクチナサイジン743(ET-743)又はそのアナログの細胞毒性を亢進させる薬剤であって、PARP-1阻害剤とエクチナサイジン743(ET-743)又はそのアナログとの組合せからなる薬剤。

【請求項2】

PARP-1阻害剤とET-743又はそのアナログとが、連続して又は同時に投与される個別の組成物として提供される、請求項1記載の薬剤。

【請求項3】

ET-743とPARP-1阻害剤又はそのアナログとが单一組成物として提供される、請求項1記載の薬剤。

【請求項4】

PARP-1阻害剤が、ニコチンアミド；NU1025；3-アミノベンズアミド；4-アミノ-1,8-ナフトリイミド；1,5-イソキノリンジオール；6(5H)-フェナントリジノン；1,3,4,5,-テトラヒドロベンゾ(c)(1,6)-及び(c)(1,7)-ナフチリジン-6-オン；アデノシン置換2,3-ジヒドロ-1H-イソインドール-1-オン；AG14361；AG014699；2-(4-クロロフェニル)-5-キノキサリンカルボキサミド；5-クロロ-2-[3-(4-フェニル-3,6-ジヒドロ-1(2H)-ピリジニル)プロピル]-4(3H)-キナゾリノン；イソイン

ドリノン誘導体 I N O - 1 0 0 1 ; 4 - ヒドロキシキナゾリン ; 2 - [3 - [4 - (4 - クロロフェニル) - 1 - ピペラジニル] プロピル] - 4 - 3 (4) - キナゾリノン ; 1 , 5 - ジヒドロキシイソキノリン (D H I Q) ; 3 , 4 - ジヒドロ - 5 [4 - (1 - ピペリジニル) (ブトキシ) - 1 (2 H) - イソキノロン ; C E P - 6 8 0 0 ; G B - 1 5 4 2 7 ; P J 3 4 ; D P Q ; B S - 2 0 1 ; A Z D 2 2 8 1 ; B S 4 0 1 ; C H P 1 0 1 ; C H P 1 0 2 ; I N H 2 B P ; B S I 2 0 1 ; B S I 4 0 1 ; T I Q - A ; 及びイミダゾベンゾジアゼピンからなる群から選択される、請求項 1 ~ 3 いずれかに記載の薬剤。

【請求項 5】

腫瘍細胞集団が、肺癌、前立腺癌、卵巣癌、乳癌、皮膚癌、及び肉腫からなる群から選択される癌細胞を含む、請求項 1 ~ 4 いずれかに記載の薬剤。

【請求項 6】

E T - 7 4 3 又はそのアナログを含む組成物が、薬理学的に許容される担体をさらに含む、請求項 1 ~ 5 いずれかに記載の薬剤。

【請求項 7】

P A R P - 1 阻害剤を含む組成物が、薬理学的に許容される担体をさらに含む、請求項 1 ~ 6 いずれかに記載の薬剤。

【請求項 8】

P A R P - 1 阻害剤が、E T - 7 4 3 又はそのアナログを含む組成物の投与前、投与中、又は投与後に 2 回以上投与される、請求項 1 、 2 、 4 ~ 7 のいずれかに記載の薬剤。

【請求項 9】

E T - 7 4 3 又はそのアナログが、E T - 7 4 3 である、請求項 1 ~ 8 いずれかに記載の薬剤。

【請求項 10】

E T - 7 4 3 又はそのアナログが、ザリップシス (登録商標) である、請求項 1 ~ 8 いずれかに記載の薬剤。

【請求項 11】

E T - 7 4 3 又はそのアナログと、腫瘍細胞集団に対する E T - 7 4 3 の細胞毒性亢進に有効量の P A R P - 1 阻害剤とを治療に有効な組合せで含む、腫瘍の治療に使用する組成物。